



## Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2 リリースノート

---

**改訂 : December 14, 2006、OL-11657-01-J**

このリリースノートでは、次の製品の Release 1.2 に関する要件と警告について説明します。

- Cisco Unified MeetingPlace Express : スケジュールおよび予約不要の音声および Web 会議を提供します。
- Cisco Unified MeetingPlace Express VT : アドホックの音声、ビデオ、Web 会議を提供します。

以前のバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express のリリースノートを参照するには、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_release_notes_list.html) にアクセスしてください。

すべてのバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express の最新のソフトウェア アップグレードを入手するには、<http://www.cisco.com/kobayashi/sw-center/sw-voice.shtml> にアクセスしてください。

# 目次

このリリースノートでは、次の内容について説明します。

- [概要 \(P.3\)](#)
- [システム要件 \(P.4\)](#)
- [関連マニュアル \(P.12\)](#)
- [新規情報および変更情報 \(P.12\)](#)
- [インストールとアップグレードに関する注意事項 \(P.14\)](#)
- [制約事項 \(P.16\)](#)
- [重要な注意事項 \(P.17\)](#)
- [警告 \(P.19\)](#)
- [トラブルシューティング \(P.27\)](#)
- [マニュアルの最新版 \(P.28\)](#)
- [マニュアルの入手方法 \(P.32\)](#)
- [シスコシステムズマニュアルセンター \(P.33\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(P.34\)](#)
- [Product Alerts および Field Notices \(P.35\)](#)
- [テクニカル サポート \(P.35\)](#)
- [その他の資料および情報の入手方法 \(P.38\)](#)

## 概要

このリリースノートでは、Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2 の要件、制限事項、警告について説明します。このリリースノートは、メンテナンス リリースごとに更新されますが、パッチまたはホット フィックスに関しては更新されません。Cisco Unified MeetingPlace Express をインストールする前に、システムに影響する可能性のある問題に関する情報を、このドキュメントで確認しておくことをお勧めします。

このドキュメントは、次の両方の製品に適用されます。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express VT](#)

### Cisco Unified MeetingPlace Express

Cisco Unified MeetingPlace Express は、Microsoft Outlook と統合するオプションを含め、高度なスケジュール機能、予約不要の音声および Web 会議機能を備えています。

Cisco Unified MeetingPlace Express、スケジュールされた会議、および予約不要の会議の詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- *Cisco Unified MeetingPlace Express* [コンフィギュレーション メンテナンス ガイド](#)
- *Cisco Unified MeetingPlace Express* [ユーザ ガイド](#)

### Cisco Unified MeetingPlace Express VT

Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、アドホックの音声、ビデオ、および Web 会議の機能を提供します。アドホック会議は、Cisco Unified MeetingPlace Express 以外の製品のエンドユーザ インターフェイスから開始されます。たとえば、Cisco Unified CallManager に登録されている Cisco Unified IP Phone の [ Meet-Me ] ボタンまたは [ Conf ] ボタンを使用して、音声のみ、または音声とビデオによるアドホック会議を開始できます。また、Cisco Unified Personal Communicator を使用して、音声、ビデオ、および Web 会議を開始することもできます。

Cisco Unified MeetingPlace Express VT およびアドホック会議の詳細については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express* [コンフィギュレーション メンテナンス ガイド](#)』を参照してください。

## システム要件

次のいずれかの項を参照してください。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express のシステム要件 \(P.4\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express VT のシステム要件 \(P.10\)](#)

### Cisco Unified MeetingPlace Express のシステム要件

ここでは、次の内容について説明します。

- [ハードウェア サーバの要件 \(P.4\)](#)
- [サーバソフトウェアの要件 \(P.5\)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Windows \(P.5\)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Apple Macintosh \(P.6\)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Linux \(P.6\)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Sun Solaris \(P.7\)](#)
- [呼制御要件 \(P.7\)](#)
- [ディレクトリ要件 \(P.7\)](#)
- [サービス品質 \(QoS\) 要件 \(P.7\)](#)
- [アドホック Web 会議の要件 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone サービスの要件 \(P.8\)](#)

### ハードウェア サーバの要件

Cisco Unified MeetingPlace Express システムは、ハードウェア サーバ上にロードされるソフトウェア製品です。ハードウェア サーバは、次の要件を満たしている必要があります。

- 次のサーバ モデルのいずれかであること
  - [表 1](#) に示す Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server (MCS)
  - サポートされる Cisco MCS サーバのいずれかとまったく同等の機能を備え、お客様が所有するシスコ認定のサードパーティ製サーバ。<http://www.cisco.com/go/swonly> を参照してください。
- DVD-ROM ドライブ
- キーボード、マウス、モニタ



(注)

ポートおよび IP アドレスの要件、スイッチの要件などのその他のサーバ要件については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストレーション アップグレード ガイド*』を参照してください。Cisco Unified MeetingPlace Express をインストールする前に、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストレーション アップグレード ガイド*』に記載されているすべての要件を満たし、準備作業がすべて完了していることを確認してください。

Cisco Unified MeetingPlace Express のインストーラは、DVD-ROM ドライブ、十分なサイズのハードドライブとメモリ、十分な CPU タイプと速度があるかどうかをチェックします。

表1 Cisco Unified MeetingPlace Express : サポートされる Cisco 7800 シリーズ MCS モデル

| システム                                  | 音声会議の容量 <sup>1</sup><br>(同時ユーザ数) | Web 会議の容量<br>(同時ユーザ数) | 音声記録の容量<br>(指定したサイズのハードドライブ<br>システムの記録時間) |        |
|---------------------------------------|----------------------------------|-----------------------|---|--------|
| <b>Cisco MCS 7825 サーバ</b>             |                                  |                       |   |        |
| Cisco MCS 7825-H2-RC1                 | 20 ~ 40                          | 6 ~ 40                | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7825-I2-RC1                 | 20 ~ 40                          | 6 ~ 40                | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7825-H1-RC1                 | 20 ~ 40                          | 6 ~ 40                | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7825-I1-RC1                 | 20 ~ 40                          | 6 ~ 40                | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7825H-3.0-IPC1 <sup>2</sup> | 20 ~ 40                          | 6                     | 150                                       | 36 GB  |
| Cisco MCS 7825I-3.0-IPC1 <sup>2</sup> | 20 ~ 40                          | 6                     | 150                                       | 36 GB  |
| <b>Cisco MCS 7835 サーバ</b>             |                                  |                       |   |        |
| Cisco MCS 7835-H2-RC1                 | 20 ~ 120                         | 6 ~ 120               | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7835-I2-RC1                 | 20 ~ 120                         | 6 ~ 120               | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7835-H1-RC1                 | 20 ~ 120                         | 6 ~ 120               | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7835-I1-RC1                 | 20 ~ 120                         | 6 ~ 120               | 2000                                      | 72 GB  |
| Cisco MCS 7835H-3.0-IPC1 <sup>2</sup> | 20 ~ 120                         | 6                     | 150                                       | 36 GB  |
| Cisco MCS 7835I-3.0-IPC1 <sup>2</sup> | 20 ~ 120                         | 6                     | 150                                       | 36 GB  |
| <b>Cisco MCS 7845 サーバ</b>             |                                  |                       |   |        |
| Cisco MCS 7845-H2-RC1                 | 20 ~ 200                         | 6 ~ 200               | 3200                                      | 144 GB |
| Cisco MCS 7845-H1-RC1                 | 20 ~ 200                         | 6 ~ 200               | 3200                                      | 144 GB |
| Cisco MCS 7845-I1-RC1                 | 20 ~ 200                         | 6 ~ 200               | 3200                                      | 144 GB |
| Cisco MCS 7845H-3.0-IPC1              | 20 ~ 180                         | 6 ~ 120               | 3200                                      | 144 GB |

1. ライト Web 会議室の同時ユーザ数のサポートを含みます。

2. これらはレガシーサーバで、Cisco Conference Connection からアップグレードする場合に使用されます。Cisco Conference Connection からのアップグレード方法の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Express インストールアップグレードガイド』を参照してください。

## サーバソフトウェアの要件

Cisco Unified MeetingPlace Express サーバは、Cisco Linux ベースのオペレーティングシステム上で動作します。このオペレーティングシステムは、アプリケーションに組み込まれています。

## クライアントソフトウェアの要件 : Windows

Microsoft Windows ユーザワークステーションが、表2に示すクライアントソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。または、ユーザにこれらの要件を提示してください。

表2 Microsoft Windows クライアントソフトウェアの要件

| サポートされるオペレーティングシステム   | サポートされるブラウザ   | Adobe Flash Player |
|---|---|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 2000 Pro SP2 以降</li> <li>Windows 2000 Server Edition SP2 以降</li> <li>Windows 2000 Advanced Server SP2 以降</li> <li>Windows XP SP1 以降</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer 5.5 以降</li> <li>Netscape 7.1 以降</li> <li>Mozilla 1.6 以降</li> <li>Firefox 1.0.3 以降</li> </ul> | Release 6.0.79 以降  |

## クライアント ソフトウェアの要件 : Apple Macintosh

Apple Macintosh ユーザ ワークステーションが、表 3 に示すクライアント ソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。または、ユーザにこれらの要件を提示してください。

表 3 Apple Macintosh クライアント ソフトウェアの要件

| サポートされるオペレーティング システム   | サポートされるブラウザ   | Adobe Flash Player |
|--|---|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Mac OS 9.2<sup>1</sup></li> <li>Mac OS 10.2 以降</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Safari 1.1 以降</li> <li>Netscape 7.1 以降</li> <li>Mozilla 1.2.1、1.6、またはそれ以降</li> <li>Firefox 1.0.3 以降</li> </ul> | Release 6.0.79 以降  |

1. P.6 の「Apple Macintosh クライアントに関する制限事項」を参照してください。

### Apple Macintosh クライアントに関する制限事項

- Mac OS 9.2 では、サポートされるブラウザは Mozilla 1.2.1 だけです。Mac OS 9.2 から画面を共有することはできません。
- ブラウザをインストールしているハードウェアが Intel ベースの Apple Macintosh の場合、Safari ブラウザを Rosetta モードで使用しないかぎり、Web 会議室でアプリケーションを共有することはできません。これは、Intel ベースの Apple Macintosh、および Adobe Flash Player を使用するプラグインを共有する Cisco Unified MeetingPlace Express 画面の既知の問題です。回避策の詳細については、<http://www.adobe.com/go/2dda3d81> を参照してください。



(注) 画面を共有する必要がある場合にのみ Rosetta モードで動作し、共有コンテンツを視聴するだけの場合は Rosetta モードを使用しないことをお勧めします。Rosetta モードで動作すると、CPU とメモリの使用量が大幅に増え、パフォーマンスが 50% 以上低下し、すべてのシステム リソースの負荷が重くなります。Rosetta モードは、最終手段として使用してください。

## クライアント ソフトウェアの要件 : Linux

Linux ユーザ ワークステーションが、表 4 に示すクライアント ソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。または、ユーザにこれらの要件を提示してください。

表 4 Linux クライアント ソフトウェアの要件

| サポートされるオペレーティング システム   | サポートされるブラウザ   | Adobe Flash Player |
|--|---|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>RedHat 9</li> <li>RedHat Enterprise Linux 3 以降</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Netscape 7.1 以降</li> <li>Mozilla 1.4、または 1.6 以降</li> <li>Firefox 1.0.3 以降</li> </ul> | Release 7.0 以降     |

### Linux クライアントに関する制限事項

Linux プラットフォームでは、画面共有機能は使用できません。ただし、ユーザは、他のプラットフォーム上のユーザと共有している画面の表示および注釈の追加は実行できます。

## クライアント ソフトウェアの要件 : Sun Solaris

Sun Solaris ユーザ ワークステーションが、表 5 に示すクライアント ソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。または、ユーザにこれらの要件を提示して確認を求めてください。

表 5 Sun Solaris クライアント ソフトウェアの要件

| サポートされるオペレーティング システム  | サポートされるブラウザ   | Adobe Flash Player |
|---|---|--------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>Solaris 9</li> <li>Solaris 10</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>Netscape 7.1</li> <li>Mozilla 1.4、1.7、またはそれ以降</li> <li>Firefox 1.0.3 以降</li> </ul> | Release 7.0 以降     |

### Sun Solaris クライアントに関する制限事項

Sun Solaris プラットフォームでは、画面共有機能は使用できません。ただし、ユーザは、他のプラットフォーム上のユーザと共有している画面の表示および注釈の追加は実行できます。

## 呼制御要件

システムがアドホック会議専用の場合を除き、Cisco Unified MeetingPlace Express は、表 6 に示すいずれかの呼制御システムと統合する必要があります。

表 6 呼制御システムのオプション

| 呼制御システム                                  | 制限事項   |
|--|--|
| Cisco CallManager、バージョン 3.3              | H.323 環境のみ。SIP はサポートされていません。   |
| Cisco Unified CallManager バージョン 4.0 以降   | SIP を Cisco Unified CallManager Release 5.0 と統合する場合、Cisco Unified MeetingPlace Express には Cisco Unified CallManager Release 5.0.4 以降が必要です。 |
| Cisco Unified CallManager Express 3.3 以降 | -  |
| Cisco SIP Proxy Server バージョン 2.11 以降     | -  |
| 標準ベースの H.323 または SIP 呼制御システム             | -  |

## ディレクトリ要件

Cisco Unified MeetingPlace Express システムでは、ディレクトリ認証用に次のいずれかのシステムが必要です。

- Cisco CallManager 3.3 以降
- Microsoft Active Directory 2000 以降を使用している Cisco CallManager 3.3 以降
- SunONE Directory Server 5.2 を使用している Cisco CallManager 3.3 以降
- Netscape Directory Server 4.x を使用している Cisco CallManager 3.3 以降

## サービス品質 (QoS) 要件

Cisco Unified MeetingPlace Express システムには、音声トラフィック用に DiffServ (RFC 2474、2475) QoS 対応のネットワークが必要です。

## アドホック Web 会議の要件

Cisco Unified MeetingPlace Express システムでは、アドホック Web 会議は、Cisco Unified Personal Communicator Release 1.1 以降のリリースでサポートされています。Cisco Unified Personal Communicator との統合の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド』を参照してください。

アドホック Web 会議のクライアントソフトウェアの要件については、次の項を参照してください。

- クライアントソフトウェアの要件：Windows (P.5)
- クライアントソフトウェアの要件：Apple Macintosh (P.6)
- クライアントソフトウェアの要件：Linux (P.6)
- クライアントソフトウェアの要件：Sun Solaris (P.7)

## Cisco Unified IP Phone サービスの要件

Cisco Unified IP Phone 対応の Cisco Unified MeetingPlace Express サービスを利用すると、Cisco Unified IP Phone の画面やボタンを使用して、Cisco Unified MeetingPlace Express の特定の機能に簡単にアクセスできます。たとえば、Cisco Unified IP Phone を使用して、会議への参加、予約不要の会議の開始、近々開催される会議の一覧表示、会議の詳細の表示を実行できます。会議に参加した後は、会議のロック、会議の録音、参加者一覧の表示、参加者のミュートまたは退席などの会議中の操作を実行できます。

Cisco Unified IP Phone 対応の Cisco Unified MeetingPlace Express サービスを利用できるのは、Cisco Unified CallManager に登録されている Cisco Unified IP Phone だけです。



(注)

Cisco Unified IP Phone 対応の Cisco Unified MeetingPlace Express サービスは、Cisco Unified CallManager Express ではサポートされていません。

表 7 に、サポートされる Cisco Unified IP Phone モデルを示します。

表 7 Cisco Unified MeetingPlace Express サービスでサポートされる Cisco Unified IP Phone

| Cisco Unified IP Phone のモデル                 | 要件  |
|---|---|
| Cisco Unified IP Phone 7940 G および G-GE シリーズ | ファームウェア バージョン 6.0(4.3) 以上、App Load ID P00306000403 と呼ばれる <sup>1</sup> |
| Cisco Unified IP Phone 7941                 | -   |
| Cisco Unified IP Phone 7960 G および G-GE シリーズ | ファームウェア バージョン 6.0(4.3) 以上、App Load ID P00306000403 と呼ばれる <sup>1</sup> |
| Cisco Unified IP Phone 7961                 | -   |
| Cisco Unified IP Phone 7970 G シリーズ          | -   |
| Cisco Unified IP Phone 7971                 | -   |
| Cisco IP Communicator Release 1.1(5) 以降     | -   |

1. ファームウェアのアップグレードの詳細については、Cisco Unified CallManager のマニュアルを参照してください。

### Cisco Unified IP Phone のモデルの決定

Cisco Unified IP Phone のモデルを決定する手順は、次のとおりです。

---

**ステップ 1** [設定] ボタンを押します。

このボタンにラベルが付いていない場合は、丸い [?] ボタンまたは [i] ボタンの右下にあるボタンを押します。

**ステップ 2** [モデル情報] を選択します。

---

### Cisco Unified IP Phone のファームウェアバージョンの決定

Cisco Unified IP Phone にロードするファームウェアバージョンを決定する手順は、次のとおりです。

---

**ステップ 1** [設定] ボタンを押します。

このボタンにラベルが付いていない場合は、丸い [?] ボタンまたは [i] ボタンの右下にあるボタンを押します。

**ステップ 2** [ステータス] を選択します。

**ステップ 3** [ファームウェアバージョン] を選択します。

**ステップ 4** 次のフィールドのいずれか、または両方を読み取ります。

- アプリケーションロード ID
  - バージョン
-

## Cisco Unified MeetingPlace Express VT のシステム要件

ここでは、次の内容について説明します。

- [ハードウェア サーバの要件 \(P.10\)](#)
- [サーバソフトウェアの要件 \(P.11\)](#)
- [QoS 要件 \(P.11\)](#)
- [アドホック音声およびビデオ会議の要件 \(P.11\)](#)
- [アドホック Web 会議の要件 \(P.11\)](#)

### ハードウェア サーバの要件

Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムは、ハードウェア サーバ上にロードされるソフトウェア製品です。ハードウェア サーバは、次の要件を満たしている必要があります。

- 次のサーバ モデルのいずれかであること
  - [表 8](#) に示す Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server (MCS)
  - サポートされる Cisco MCS サーバのいずれかとまったく同等の機能を備え、お客様が所有するシスコ認定のサードパーティ製サーバ。<http://www.cisco.com/go/swonly> を参照してください。
- DVD-ROM ドライブ
- キーボード、マウス、モニタ



(注)

ポートおよび IP アドレスの要件、スイッチの要件など、その他のサーバ要件については、『Cisco Unified MeetingPlace Express インストール アップグレード ガイド』を参照してください。Cisco Unified MeetingPlace Express VT をインストールする前に、『Cisco Unified MeetingPlace Express インストール アップグレード ガイド』に記載されているすべての要件を満たし、準備作業がすべて完了していることを確認してください。

Cisco Unified MeetingPlace Express のインストーラは、DVD-ROM ドライブ、十分なサイズのハードドライブとメモリ、十分な CPU タイプと速度があるかどうかをチェックします。

表 8 Cisco Unified MeetingPlace Express VT : サポートされる Cisco 7800 シリーズ MCS モデル

| システム                      | アドホック音声会議の容量<br>(同時ユーザ数) | アドホック Web 会議の容量<br>(同時ユーザ数) | アドホック ビデオ会議の容量 <sup>1</sup><br>(同時ユーザ数) |
|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|---|
| <b>Cisco MCS 7825 サーバ</b> |                          |                             |   |
| Cisco MCS 7825-H2-RC1     | 20 ~ 30                  | 6 ~ 30                      | 6 ~ 30                                  |
| Cisco MCS 7825-I2-RC1     | 20 ~ 30                  | 6 ~ 30                      | 6 ~ 30                                  |
| Cisco MCS 7825-H1-RC1     | 20 ~ 30                  | 6 ~ 30                      | 6 ~ 30                                  |
| Cisco MCS 7825-I1-RC1     | 20 ~ 30                  | 6 ~ 30                      | 6 ~ 30                                  |
| <b>Cisco MCS 7835 サーバ</b> |                          |                             |   |
| Cisco MCS 7835-H2-RC1     | 20 ~ 40                  | 6 ~ 40                      | 6 ~ 40                                  |
| Cisco MCS 7835-I2-RC1     | 20 ~ 40                  | 6 ~ 40                      | 6 ~ 40                                  |
| Cisco MCS 7835-H1-RC1     | 20 ~ 40                  | 6 ~ 40                      | 6 ~ 40                                  |
| Cisco MCS 7835-I1-RC1     | 20 ~ 40                  | 6 ~ 40                      | 6 ~ 40                                  |

1. ビデオ会議の容量は、設定済みのビデオ最大ビット レートの 320 kbps を前提としています。最大ビット レートをさらに大きい値に設定すると、ビデオ会議の容量が減少します。

## サーバソフトウェアの要件

Cisco Unified MeetingPlace Express VT サーバは、Cisco Linux ベースのオペレーティング システム上で動作します。このオペレーティング システムは、アプリケーションに組み込まれています。

## QoS 要件

Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムには、音声トラフィック用に DiffServ (RFC 2474、2475) QoS 対応のネットワークが必要です。

## アドホック音声およびビデオ会議の要件

Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムでは、アドホック ビデオ会議は、Cisco Unified Personal Communicator Release 1.1.3 以降のリリースでサポートされています。

Cisco Unified CallManager Release 4.1 以降のリリースのみがサポートされています。

アドホック音声およびビデオ会議を有効にするには、Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムを Cisco Unified CallManager で Cisco ビデオ会議ブリッジとして設定する必要があります。

アドホック音声およびビデオ会議は、Cisco Unified CallManager に登録されているエンドポイントデバイスおよびトランクに対してのみ利用できます。

アドホック音声およびビデオ会議を有効にする方法および設定する方法の詳細については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド*』を参照してください。

## アドホック Web 会議の要件

Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムでは、アドホック Web 会議は、Cisco Unified Personal Communicator Release 1.1 以降のリリースでサポートされています。Cisco Unified Personal Communicator Release 1.1 は、Web を使用した音声会議も実行できます。Cisco Unified Personal Communicator との統合については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド*』を参照してください。

アドホック Web 会議のクライアントソフトウェアの要件については、次の項を参照してください。

- [クライアントソフトウェアの要件 : Windows \( P.5 \)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Apple Macintosh \( P.6 \)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Linux \( P.6 \)](#)
- [クライアントソフトウェアの要件 : Sun Solaris \( P.7 \)](#)

## 関連マニュアル

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products\\_documentation\\_roadmaps\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products_documentation_roadmaps_list.html)にある『Documentation Guide for Cisco Unified MeetingPlace Express』を参照してください。

## 新規情報および変更情報

Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2 では、次の機能が追加されました。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express VT \( P.12 \)](#)
- [Microsoft Outlook との統合 \( P.13 \)](#)
- [アーカイブされた音声会議記録 \( P.13 \)](#)

使用できるすべての機能とメリットの詳細については、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products_data_sheets_list.html)にある Cisco Unified MeetingPlace Express のデータシートを参照してください。

## Cisco Unified MeetingPlace Express VT

Cisco Unified MeetingPlace Express VT は、Cisco Unified CallManager を使用して、ビデオ テレフォニー用のアドホック音声、ビデオ、および Web 会議機能を提供します。



(注)

Cisco Unified MeetingPlace Express VT システム ( アドホック会議用 ) は、Cisco Unified MeetingPlace Express システム ( スケジュールおよび予約不要会議用 ) とは別に配置されたサーバである必要があります。実稼働環境では、システムはどちらか一方のライセンスを保持する必要があります。アドホックライセンスとスケジュールライセンスの両方を同じサーバ上にロードすることはできません。

アドホック会議は、Cisco Unified MeetingPlace Express 以外の製品のエンドユーザーインターフェイスから開始されます。たとえば、Cisco Unified CallManager に登録されている Cisco Unified IP Phone の [ Meet-Me ] ボタンまたは [ Conf ] ボタンを使用して、音声のみ、または音声とビデオによるアドホック会議を開始できます。また、Cisco Unified Personal Communicator を使用して、音声、ビデオ、および Web 会議を開始することもできます。

ビデオ ミキサは、同じサーバ上の音声ミキサによる判別に従い、現在アクティブな発言者に基づいてビデオ ストリームを切り替えます。音声がアクティブなディスプレイには、Common Intermediate Format( CIF )の寸法を使用して、一度に 1 つのビデオ ストリーム ( 1x1 レイアウト ) が表示されます。

アクティブな発言者のビデオ ストリームが会議のすべてのエンドポイントに送信され、直前の発言者のビデオ ストリームが現在アクティブな発言者に送信されます。会議内のエンドポイントが 1 つのみの場合、そのエンドポイントには自身のビデオ ストリームが表示されます。

アドホック会議の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンス ガイド』を参照してください。

## Microsoft Outlook との統合



(注)

この機能は、Cisco Unified MeetingPlace Express VT システム（アドホック会議専用）には適用されません。Microsoft Outlook との統合は、Cisco Unified MeetingPlace Express システム（スケジュールされた会議および予約不要会議用）にのみ使用されます。

Cisco Unified MeetingPlace Express と Microsoft Outlook を統合すると、エンドユーザは Microsoft Outlook のカレンダーから会議のスケジュール、スケジュールの変更、キャンセルができます。会議のスケジュール、スケジュール変更、キャンセルが、Microsoft Outlook カレンダーから実行されたか、または Cisco Unified MeetingPlace Express のエンドユーザ Web インターフェイスから実行されたかについて、Microsoft Outlook の通知を送信できます。エンドユーザが会議通知を受け取ると、Microsoft Outlook のカレンダーで、会議情報と参加（click-to-attend）リンクが使用可能になります。

この機能を使用するには、Cisco Unified MeetingPlace Express for Microsoft Outlook の拡張機能をエンドユーザのワークステーションにインストールする必要があります。

- システム管理者は、Microsoft Systems Management Server（SMS）などの自動配布システムを使用して、プラグインをリモートで配布しインストールすることができます。
- エンドユーザは、エンドユーザ Web インターフェイスから自分でプラグインをダウンロードしインストールすることができます。

Microsoft Outlook との統合に関するシステム管理者向けの情報については、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンズガイド』を参照してください。

Microsoft Outlook との統合に関するエンドユーザ向けの情報については、次のマニュアルを参照してください。

- *Cisco Unified MeetingPlace Express と Microsoft Outlook の統合：クイックスタートガイド*
- *Cisco Unified MeetingPlace Express と Microsoft Outlook の統合：ユーザガイド*

## アーカイブされた音声会議記録



(注)

この機能は、Cisco Unified MeetingPlace Express VT システム（アドホック会議専用）には適用されません。音声記録は、Cisco Unified MeetingPlace Express システムだけが使用します（スケジュールされた会議と予約不要会議用）。

今では、音声会議記録は、アーカイブ プロセスに含まれています。

データベース外部のファイル、音声会議記録、ユーザ名記録が、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバに保存される L0、L1、または L2 のデータベース バックアップ ファイルに含まれていないためです。ただし、音声会議記録とユーザ名記録はどちらもアーカイブ プロセスに含まれているため、データベース バックアップ ファイルと重要な外部ファイルはリモート サーバにコピーされます。

データのバックアップとアーカイブの詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンズガイド』を参照してください。

エンドユーザは、会議記録をダウンロードし、それらの名前を変更して、自分の PC に保存することもできます。会議記録のダウンロード方法については、『Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザガイド』を参照してください。

## インストールとアップグレードに関する注意事項

インストールおよびアップグレードの手順については、『Cisco Unified MeetingPlace Express インストールレーションアップグレードガイド』を参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- 新規システムのインストール (P.14)
- 既存システムのアップグレード (P.14)
- Release 1.1.2 または Release 1.1.4 などのローカライズされたリリースからのアップグレード (P.15)

### 新規システムのインストール

新規インストールの場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express システム ソフトウェアおよびライセンスを発注する必要があります。 <http://www.cisco.com/en/US/ordering/> にアクセスするか、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

出荷される各 Cisco Unified MeetingPlace Express にインストール DVD が同梱されています。この DVD は、すべての新規インストールで必要です。インストール DVD から Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティングシステムおよびアプリケーション ソフトウェアをインストールします。

### 既存システムのアップグレード

Cisco.com からアップグレード専用のソフトウェア イメージをダウンロードできます。このイメージを使用して、Cisco Unified MeetingPlace Express を旧ソフトウェア リリースから新しいソフトウェア リリースへアップグレードします。

このソフトウェアをダウンロードするには、 <http://www.cisco.com/kobayashi/sw-center/sw-voice.shtml> にアクセスしてください。Software Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。Software Center に掲示されたイメージを使用するには、すでに Cisco Unified MeetingPlace Express がインストールされている必要があります。



**(注)** 以前に [ ユーザ情報を保存 ] チェックボックスをオンにしている場合でも、ログイン情報を再入力する必要があります。アップグレードすると、システムに保存されていたユーザ情報は失われます。回避策を含め、詳細については、CDETS CSCsg78339 を参照してください。

旧リリースから Release 1.2 にアップグレードした後、次の手順でシステムをリポートします。

#### 手順

- ステップ 1** mpadmin ユーザとしてログインします。ログイン方法およびコマンドライン インターフェイス (CLI) の使用方法については、『Cisco Unified MeetingPlace Express インストールレーションアップグレードガイド Release 1.2』を参照してください。
- ステップ 2** CLI に移動し、`sudo mpx_sys stop` と入力します。
- ステップ 3** su およびルート ユーザのパスワードを入力して、ルート ユーザに変更します。

**ステップ 4** /sbin/shutdown -r now と入力します。

## Release 1.1.2 または Release 1.1.4 などのローカライズされたリリースからのアップグレード



**注意**

Release 1.1.2 または Release 1.1.4 など、アメリカ英語およびイギリス英語以外の言語がアクティブになっているリリースから Release 1.2 へアップグレードすることはお勧めしません。

ここでは、次の内容について説明します。

- [ローカライズされたリリースからアップグレードする前に \(P.15\)](#)
- [ローカライズされたリリースからのアップグレード後 \(P.15\)](#)

### ローカライズされたリリースからアップグレードする前に

Release 1.1.2 または Release 1.1.4 から Release 1.2 にアップグレードする場合は、アップグレードを開始する前に、アメリカ英語およびイギリス英語以外のすべての言語を非アクティブにする必要があります。システムのデフォルト言語は、アメリカ英語またはイギリス英語のどちらかにする必要があります。デフォルト言語を英語に設定する手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。ログイン方法については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストールアップグレードガイド Release 1.2*』を参照してください。
- ステップ 2** [ 管理 ] をクリックします。
- ステップ 3** [ System Configuration ] > [ Usage Configuration ] をクリックします。
- ステップ 4** [ Language 1 ] フィールドで、ドロップダウン リストからインストール済み言語として [ English ] を選択します。
- ステップ 5** [ Save ] をクリックします。

### ローカライズされたリリースからのアップグレード後

システムを Release 1.1.2 または Release 1.1.4 から Release 1.2 にアップグレードすると、アメリカ英語またはイギリス英語以外のプロファイル言語でログインしているエンドユーザに対してエラーメッセージが表示されます。エンドユーザはすべて、プロファイル言語をアメリカ英語またはイギリス英語に変更する必要があります。



**(注)** これを実行できるのはエンドユーザのみで、システム管理者は実行できません。

エンドユーザは、次の手順で、デフォルトのプロファイル言語を英語に変更できます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。ログイン方法については、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストレーション アップグレード ガイド Release 1.2*』を参照してください。
- ステップ 2** [プロファイル] をクリックします。
- ステップ 3** [言語] フィールドで、ドロップダウン リストから [English] を選択します。
- ステップ 4** [プロファイルの更新] をクリックします。
- 

## 制約事項

ここでは、次の内容について説明します。

- [システムがサポート可能な最大同時ユーザ数 \(P.16\)](#)

### システムがサポート可能な最大同時ユーザ数

システムがサポート可能な音声、ビデオ、または Web の最大同時ユーザ数は、Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server (MCS) の特定のモデルおよびインストールされているライセンスによって異なります。次の項を参照してください。

- Cisco Unified MeetingPlace Express システムの場合は、[P.4 の「ハードウェア サーバの要件」](#)を参照してください。
- Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムの場合は、[P.10 の「ハードウェア サーバの要件」](#)を参照してください。

『*Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド*』のライセンスに関する情報も参照してください。

## 重要な注意事項

次の項で、Cisco Unified MeetingPlace Express に関する重要な情報について説明します。

- サードパーティ ソフトウェア (P.17)
- オープンソースの著作権情報 (P.18)
- Adobe Technology および商標 (P.18)

## サードパーティ ソフトウェア

This software includes software governed by certain open source licenses as follows:

LAME 3.xx found at <http://www.mp3dev.org>.

LAME Ain't an MP3 Encoder

<http://www.mp3dev.org>

March 2001

Originally developed by Mike Cheng ([www.uq.net.au/~zzmcheng](http://www.uq.net.au/~zzmcheng)).

Now maintained by Mark Taylor ([www.mp3dev.org](http://www.mp3dev.org)).

This code is distributed under the GNU LESSER PUBLIC LICENSE (LGPL, see [www.gnu.org](http://www.gnu.org)) with the following modification:

1. If you determine that distribution of LAME requires a patent license, and you obtain a patent license, you may distribute LAME even though redistribution of LAME may also require a patent license.
2. You agree not to enforce any patent claims for any aspect of MPEG audio compression, or any other techniques contained in the LAME source code.

LAME uses the MPGLIB decoding engine, from the MPG123 package, written by: Michael Hipp ([www.mpg123.de](http://www.mpg123.de)) MPGLIB is released under the GPL.

Copyrights (c) 1999,2000,2001 by Mark Taylor

Copyrights (c) 1998 by Michael Cheng

Copyrights (c) 1995,1996,1997 by Michael Hipp: mpglib

As well as additional copyrights as documented in the source code.

If you cannot locate copies of the referenced GPL license(s) in this section please contact the Free Software Foundation at [licensing@fsf.org](mailto:licensing@fsf.org) or 51 Franklin St., 5th Floor, Boston, MA 02110-1301. For information about obtaining the source code for the third party software, contact Cisco Systems Legal Department and include details about the product and a copy of the license at 300 E. Tasman Dr., San Jose, CA 95124.

## オープンソースの著作権情報

Portions of this software product are copyright as follows:

Copyright (c) 1985, 1987, 1988 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Portions of this software product include the following notice:

This file is in the public domain, so clarified as of 1996-06-05 by Arthur David Olson  
(arthur\_david\_olson@nih.gov)

## Adobe Technology および商標

Adobe technology is used in this product.

Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

## 警告

ここでは、次の項について説明します。

- [Bug Toolkit の使用方法 \( P.19 \)](#)
- [Bug Toolkit のクエリーの保存 \( P.20 \)](#)
- [ハードウェアに関する警告 \( P.21 \)](#)
- [未解決の警告 \( P.22 \)](#)
- [解決済みの警告 \( P.26 \)](#)

## Bug Toolkit の使用方法

Bug Toolkit を使用して、Cisco Unified MeetingPlace Express の最新の警告情報を検索できます。すべてのリリースについて、あらゆるシビルティの未解決の警告および解決済みの警告を検索できます。

### ご使用になる前に

Bug Toolkit にアクセスするには、次のアイテムが必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com ( Cisco Connection Online ) のアカウント

### 手順

**ステップ 1** Bug Toolkit を使用するには、[http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch\\_bugtool.pl](http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl) にアクセスします。

Cisco.com のユーザ ID とパスワードでログインします。

**ステップ 2** [ Launch Bug Toolkit ] ハイパーリンクをクリックします。

**ステップ 3** 特定の警告に関する情報を検索する場合は、[ Enter known bug ID: ] フィールドに ID 番号を入力します。

Cisco Unified MeetingPlace Express に関する警告をすべて表示するには、[ Search for bugs in other Cisco software and hardware products ] セクションに移動して、[ Product Name ] フィールドに **Cisco Unified MeetingPlace Express** と入力します。製品名リストをスクロールして、[ Cisco Unified MeetingPlace Express ] をクリックすることもできます。

**ステップ 4** [ Next ] をクリックします。Cisco Unified MeetingPlace Express の検索ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** 警告をクエリーするためのフィルタを選択します。使用可能なオプションのいずれか、またはすべてを選択することができます。

a. Cisco Unified MeetingPlace Express のバージョンを選択します。

- メジャー リリースのメジャー バージョンを選択

メジャー リリースには、重要な新機能、拡張機能、アーキテクチャの変更、障害のフィックスが含まれています。

- さらに限定された情報を取得するためにリビジョンを選択  
リビジョン（メンテナンス）リリースには、主に、特定の問題を解消する障害フィックスが含まれていますが、新機能や拡張機能が含まれている場合もあります。
- b. クエリーする機能またはコンポーネントを選択します。[ Available ] リストから選択し、[ Add ] をクリックして、選択した機能またはコンポーネントを [ Limit search to ] リストに配置します。
- c. 必要に応じて、警告のタイトルや説明を検索のキーワードとして入力します。



**(注)** クエリーが限定的になり過ぎないように、メジャーバージョン / リビジョン、機能 / コンポーネント、キーワードのオプションにはすべてワイルドカードを使用してください。

- d. [ Set Advanced Options ] を選択します。次の項目があります。
  - Bug Severity level : デフォルトは 1 ~ 3
  - Bug Status Group : 解決済みの警告を検索する場合は、[ Fixed ] チェックボックスをオン
  - Release Note Enclosure : デフォルトは Valid Release Note Enclosure
- e. [ Next ] をクリックします。

Bug Toolkit は、クエリーに基づいて警告リストを返します。

- さらに異なる条件で別のクエリーを実行すると、結果を変更できます。
- 将来使用するために、クエリーを保存しておくことができます。P.20 の「Bug Toolkit のクエリーの保存」を参照してください。



**(注)** Bug Toolkit に関する詳細なオンライン ヘルプを表示するには、Bug Toolkit ウィンドウで [ Help ] をクリックしてください。

## Bug Toolkit のクエリーの保存

Bug Toolkit では、特定の傷害またはネットワーク状況を監視するためのクエリーを作成し、保存しておくことができます。保存した検索内容はいつでも編集して、アラート条件、監視対象の障害、またはネットワーク プロファイルを変更できます。

### 手順

- ステップ 1** P.19 の「Bug Toolkit の使用方法」で説明した手順で、警告の検索を実行します。
- ステップ 2** 検索結果ウィンドウの下部に表示される [ This Search Criteria ] ボタンをクリックします。  
新しいウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [ Name of saved search ] フィールドに保存した検索の名前を入力します。

**ステップ 4** [ My Bug Groups ] で、次のオプションのいずれかを使用して、関心のある障害をバググループに保存します。

- [ Existing group ] オプション ボタンをクリックして、ドロップダウン リスト ボックスから既存のグループ名を選択する。
- [ Create new group named: ] オプション ボタンをクリックして、グループ名を入力し、今回保存する検索用に新しいグループを作成する。



**(注)** このバググループには、保存した検索条件を使用して識別されるバグが含まれます。新しいバグが検索条件に合致するたびに、それが選択したグループに追加されます。

Bug Toolkit は、バグと検索を保存し、それらを [ My Stuff ] ウィンドウから使用できるようにします ([ My Stuff ] ウィンドウを使用すると、既存のバググループまたは保存した検索を表示、作成、または変更できます。[ My Stuff ] リンクを選択すると、すべてのバググループのリストを表示できます)。

**ステップ 5** バグステータスに変更された際に自動アップデートの受信を希望する場合は、[ Email Update Options ] でオプションの電子メール通知プリファレンスを設定できます。Bug Toolkit には、次のオプションがあります。

- **Do NOT send me any email updates** : このデフォルト設定を選択した場合、Bug Toolkit は電子メール通知を送信しない。
- **Send my updates to:** : オプション ボタンをクリックしてこのオプションをオンにすると、このフィールドに入力したユーザ ID に電子メール通知が送信される。その他の通知オプションには、次のものがあります。
  - **Updates as they occur** : Bug Toolkit は、ステータスの変更に基づいてアップデートを提供する。
  - **Weekly summaries** : Bug Toolkit は、週ごとにサマリー アップデートを提供する。
- **Apply these email update options to all of my saved searches** : このチェックボックスをオンにすると、すべての保存された検索に対して、これらの電子メール アップデート オプションが適用される。

**ステップ 6** 変更を保存するには、[ Save ] をクリックします。

**ステップ 7** ウィンドウに、保存したバググループが表示されます。このウィンドウで、バググループ名をクリックして、バグと保存されている検索を表示できます。また、検索条件を編集することもできます。

## ハードウェアに関する警告

特定のハードウェア サーバのマニュアルを参照してください。Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server のマニュアルは、次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/tsd_products_support_series_home.html)

## 未解決の警告

表 9 に示す警告には、Cisco Unified MeetingPlace Express ソフトウェアの最新リリースで発生する可能性のある予期しない動作が説明されています。これらの警告は、以前のリリースでも未解決であった可能性があります。このマニュアルには、シビラティ 1、シビラティ 2、シビラティ 3（一部）の未解決の警告、およびお客様が検出した障害だけが、シビラティ順、さらにバグ ID の英数字順に記載されています。個々の障害の詳細については、表 9 の URL をクリックするか、またはその URL に移動して、回避策を含む障害のオンライン記録にアクセスしてください。

障害ステータスは頻繁に変更されるため、表 9 は、このレポートの編集時点で未解決だった障害を示している点に注意してください。未解決の障害の最新リストについては、Bug Toolkit にアクセスしてください（P.19 の「Bug Toolkit の使用方法」を参照）。

表 9 Cisco Unified MeetingPlace Express に関する未解決の警告

| ID                      | シビラティ | コンポーネント | 見出し  |
|-------------------------|-------|---------|--|
| CSCsg14522 <sup>1</sup> | 1     | Web 会議  | SSL 証明書をインストールしようとしたが Web UI にアクセスできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg14522">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg14522</a>          |
| CSCsc87081              | 2     | Web 会議  | iptables stop/restart コマンドがソフト リブート時点で停止する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc87081">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc87081</a>      |
| CSCsd20410              | 2     | Web 会議  | フロアが開いているが予約不要の会議が Web 上でロックされたままである<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd20410">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd20410</a>            |
| CSCsd22143              | 2     | Web 会議  | Web 会議の統計情報が古いままである - 会議室の起動に遅延が生じる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd22143">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd22143</a>             |
| CSCsd64808              | 2     | Web 会議  | 日付が変わった後、リブートしても Web 会議を開始できない（夏時間および標準時間）<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd64808">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd64808</a>      |
| CSCsd81531              | 2     | Web 会議  | Web 会議をロックすると OEM 固有の情報が表示可能になる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd81531">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd81531</a>                 |
| CSCsd86333              | 2     | Web 会議  | 640 × 480 の会議室のスクリーン解像度の設定がまったくサイズ変更されない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd86333">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd86333</a>        |
| CSCsd86353              | 2     | Web 会議  | 会議室 - 会議室の帯域幅の最適化がデータ レートに反映されない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd86353">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd86353</a>                |
| CSCsd87801              | 2     | Web 会議  | Web 会議を開始できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd87801">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd87801</a>                                   |
| CSCsd90342              | 2     | Web 会議  | 1024 × 768 高解像度プレゼンテーション - データが参加者リストに 2 回送信される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd90342">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd90342</a> |
| CSCse16565              | 2     | Web 会議  | SQLException : デッドロックが検出され、会議に参加できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse16565">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse16565</a>            |

表9 Cisco Unified MeetingPlace Express に関する未解決の警告 (続き)

| ID                      | シビラティ | コンポーネント | 見出し   |
|-------------------------|-------|---------|---|
| CSCse35437              | 2     | Web 会議  | ISAM エラー : 110 Web ユーザのロード実行中にデッドロックが検出された<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse35437">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse35437</a>                   |
| CSCse53455              | 2     | システム    | 単一のボックスに 3 つの IP アドレスが割り当てられているため、システムが DHCP から IP アドレスを取得する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse53455">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse53455</a> |
| CSCsf00554              | 2     | Web 会議  | ホスト名 / ドメインの変更後に Web 会議を開始できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf00554">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf00554</a>                               |
| CSCsf99056              | 2     | テレフォニー  | VUI ポートおよび会議が停止する - 新規コールを発信できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf99056">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf99056</a>                             |
| CSCsg25482 <sup>1</sup> | 2     | Web     | FQDN のエイリアスを持たないユーザがシステムにアクセスできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg25482">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg25482</a>                            |
| CSCsg34359              | 2     | Web     | ユーザがログインできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg34359">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg34359</a>   |
| CSCsg36300              | 2     | テレフォニー  | 負荷が重いと Web ポートが不足する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg36300">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg36300</a>  |
| CSCsg36518              | 2     | アクセス可能性 | Web インターフェイスが反応しなくなる場合がある<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg36300">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg36300</a>                                    |
| CSCsg40708              | 2     | Outlook | スケジュール変更 : マウスによる予定期間の延長<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg40708">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg40708</a>                                     |
| CSCsg44759              | 2     | テレフォニー  | システム リポート - DBAPI - DB リード / ライト ロック障害<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg44759">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg44759</a>                       |
| CSCsg46516              | 2     | Web 会議  | Web 会議 - 120 ユーザ セッション - SSL - FCS コア メモリのリークおよび破損を招く<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg46516">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg46516</a>        |
| CSCsg65003              | 2     | 管理      | サーバが破損しリポートされる - nmpagent コアダンプ<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg65003">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg65003</a>                              |
| CSCsg67998              | 2     | mpe ビデオ | 会議がブリッジで停止する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg67998">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg67998</a>   |
| CSCsg68004              | 2     | mpe ビデオ | 2 番目のエンドポイントが会議にダイヤルインすると、ビデオが数秒間一時停止する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg68004">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg68004</a>                      |
| CSCsg76192              | 2     | システム    | MeetingPlace Express が Web トラフィックを eth1 にバインドしない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg76192">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg76192</a>             |
| CSCsg78368              | 2     | テレフォニー  | 継続会議の終了後の「固定」ポートの解放に関する問題<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg78368">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg78368</a>                                    |

表9 Cisco Unified MeetingPlace Express に関する未解決の警告 ( 続き )

| ID                      | シビリティ | コンポーネント | 見出し  |
|-------------------------|-------|---------|--|
| CSCsg80201              | 2     | アップグレード | 1.1.2.155 から 1.2.0.111 へのアップグレード後にローカライズされたユーザにアクセスできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg80201">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg80201</a> |
| CSCsc88504              | 3     | Web 会議  | ホスト名の変更に Web 会議が動作しない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc88504">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc88504</a>                                   |
| CSCsd16287              | 3     | Web 会議  | ノートポッド メッセージのデフォルト テンプレートを使用して会議室を開くことができない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd16287">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd16287</a>             |
| CSCsd34216 <sup>1</sup> | 3     | テレフォニー  | cptrace ( eventlog ) ファイルが破損している<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd34216">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd34216</a>                        |
| CSCse42029              | 3     | データベース  | 一部のアップグレードされたサーバで、ゲストが遮蔽され会議に参加できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse42029">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse42029</a>                     |
| CSCse63954 <sup>1</sup> | 3     | システム    | net コマンドが、不正なディレクトリにあるファイルを更新する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse63954">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse63954</a>                         |
| CSCse65678 <sup>1</sup> | 3     | ドキュメント  | サポートされるハードウェアがリリースノートに記載されていない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse65678">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse65678</a>                          |
| CSCse81664              | 3     | その他     | フル Web 会議をオフにできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse81664">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse81664</a>                                       |
| CSCsf14015              | 3     | テレフォニー  | 自動応答デバイスへのアウトダイヤルを切断すると問題が発生する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf14015">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf14015</a>                          |
| CSCsf16962              | 3     | Web     | アップグレード後のデータベースの問題によって、ライト Web が動作しない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf16962">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf16962</a>                   |
| CSCsf26152              | 3     | Web 会議  | Web 会議に参加中に引き続きアウトダイヤルリンクが表示される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf26152">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf26152</a>                         |
| CSCsf95963              | 3     | 管理      | パスワードに「&」などの英数字以外の文字が含まれているとアーカイブが失敗する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf95963">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf95963</a>                  |
| CSCsf96882              | 3     | Web 会議  | Web 会議への断続的な接続障害：会議に参加できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf96882">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf96882</a>                              |
| CSCsg05722              | 3     | その他     | システムのアップグレード後、すべての会議が「予約不要」としてマークされる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg05722">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg05722</a>                    |
| CSCsg14974              | 3     | Web 会議  | 特定のアプリケーションに [ 共有の停止 ] ボタンが表示されない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg14974">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg14974</a>                       |

表9 Cisco Unified MeetingPlace Express に関する未解決の警告（続き）

| ID         | シビリティ | コンポーネント       | 見出し   |
|------------|-------|---------------|---|
| CSCsg15283 | 3     | テレフォニー        | 1.111 から 1.2.0.10 へのアップグレード後、システムをリブートする必要がある<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg15283">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg15283</a>      |
| CSCsg27866 | 3     | 管理            | ポート使用状況レポートが不正である<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg27866">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg27866</a>                                  |
| CSCsg46542 | 3     | ミキサー          | 参加者数が不正に報告される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg46542">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg46542</a>                                      |
| CSCsg47891 | 3     | ライセンス         | 新規インストール後に Administration Center で誤った警告メッセージが表示される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg47891">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg47891</a> |
| CSCsg53017 | 3     | IP Phone サービス | ユーザが自分のロケールで IP フォン サービスを介してナビゲートできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg53017">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg53017</a>              |
| CSCsg58856 | 3     | 管理            | バックアップアーカイブ FTP の root からの false positive 成功メッセージ<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg58856">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg58856</a>  |
| CSCsg58967 | 3     | インストーラ        | 正常にロールバックした後、すべての音声案内ファイルがシステムから削除される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg58967">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg58967</a>              |
| CSCsg67030 | 3     | mpe ビデオ       | アクティブな発言者の切り替えに 5 ~ 10 秒長くなる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg67030">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg67030</a>                       |
| CSCsg69418 | 3     | テレフォニー        | VT 設定オプションが stdvideoconf ライセンスを無視する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg69418">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg69418</a>                |
| CSCsg78751 | 3     | テレフォニー        | アップグレード後、初めてアウトダイヤルすると無音状態になり、すぐに切断される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg78751">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg78751</a>             |
| CSCsg80121 | 3     | 管理            | ファイルからのプロファイルをインポートした後、ユーザ / グループ言語のプリファレンスが失われる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg80121">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg80121</a>   |
| CSCsg89628 | 3     | システム          | ネットワーク設定パラメータが確認ページに引き継がれない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg89628">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg89628</a>                        |
| CSCse99559 | 4     | IP Phone      | パスワードを 2 回入力する必要がある<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse99559">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse99559</a>                                |

1. この障害は、クローズド状態に移動されました。つまり、この障害は認識されていますが、ベンダー側の制限があるため修正されません。

## 解決済みの警告

ここでは、以前のリリースでは未解決であった可能性があるが、現在は解決済みの警告を示します。

このマニュアルには、シビルティ 1、シビルティ 2、シビルティ 3（一部）の解決済みの警告、およびお客様が検出した障害だけが、シビルティ順、さらにバグ ID の英数字順に記載されています。個々の障害の障害については、障害の下の URL をクリックするか、またはその URL に移動して、その障害のオンライン記録にアクセスしてください。

障害ステータスは頻繁に変更されるため、このドキュメントは、このレポートの編集時点で解決済みだった障害を示している点に注意してください。解決済みの障害の最新リストについては、Bug Toolkit にアクセスしてください（P.19 の「Bug Toolkit の使用方法」を参照）。

表 10 Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2.0 で解決済みの警告

| ID         | シビルティ | コンポーネント | 見出し   |
|------------|-------|---------|---|
| CSCsb03664 | 2     | Web 会議  | 継続会議をスケジュールできない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb03664">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb03664</a>                                  |
| CSCsc29572 | 2     | Web 会議  | ネットワーク切断後に再接続できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc29572">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc29572</a>                                |
| CSCsc29979 | 2     | Web 会議  | トラフィックのロード中に会議室の発言者ステータスが更新されない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc29979">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc29979</a>                  |
| CSCsd18176 | 2     | Web 会議  | 切断の発生時に Web 会議室に再接続できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc18176">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc18176</a>                          |
| CSCsd57367 | 2     | Web 会議  | 高解像度の会議セッションでユーザが 60 を越えると Web 会議の機能が停止する<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd57367">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd57367</a>        |
| CSCse11387 | 2     | Web 会議  | 切断後に Web 会議室に再接続できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse11387">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse11387</a>                             |
| CSCsf00466 | 2     | テレフォニー  | 250 のコールトラフィックが 5 日間続いた後、H323 コールを発信できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf00466">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf00466</a>         |
| CSCsf19576 | 2     | Web     | 代理スケジュールで複数の招待者を追加できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf19576">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf19576</a>                           |
| CSCsf19767 | 2     | Web     | ドメインなしの電子メールフォーマット名が CallManager からインポートされた<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf19767">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsf19767</a>      |
| CSCsg52720 | 2     | Web     | Web UI：会議室から参加者を招待できない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg52720">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsg52720</a>                           |
| CSCsb16047 | 3     | Web     | 今日のリストに、表示されないはずの過去の継続会議が表示される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb16047">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb16047</a>                   |
| CSCse65268 | 3     | Web     | Web ポートの不足が原因でスケジュールが失敗した場合、音声だけの会議のオプションが表示されない<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse65268">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse65268</a> |

表 10 Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.2.0 で解決済みの警告（続き）

| ID         | シビリティ | コンポーネント | 見出し   |
|------------|-------|---------|---|
| CSCsc55573 | 4     | Web     | Web 会議監視サービスによる comp のチェック時に、60 秒の遅延が生じる<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55573">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55573</a> |
| CSCsa97666 | 6     | テレフォニー  | 入力された会議 ID とプロファイル番号が cptrace に記録される<br><a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsa97666">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsa97666</a>     |

## トラブルシューティング

トラブルシューティングについては、次の Cisco Unified MeetingPlace Express のマニュアルで説明されています。これらのマニュアルは、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod\\_troubleshooting\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_troubleshooting_guides_list.html) から入手できます。

### **Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド**

このガイドには、管理センターから実行できるトラブルシューティングに関する情報が記載されています。

### **Cisco Unified MeetingPlace Express トラブルシューティング ガイド**

このガイドには、システム管理者は実行できるが、管理センターでは実行できないトラブルシューティングに関する情報が記載されています。

### **Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザ ガイド**

このガイドには、エンドユーザが実行できるトラブルシューティングに関する情報が記載されています。

## マニュアルの最新版

Cisco Unified MeetingPlace Express のすべてのマニュアルの最新版は、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/tsd_products_support_series_home.html) から入手できます。

ここでは、次のマニュアルの最新の発行版に記載されなかった更新情報について説明します。

- [Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド \(P.28\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザ ガイド \(P.31\)](#)

## Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド

ここでは、次の内容について説明します。

- [マニュアルの誤り \(P.28\)](#)
- [マニュアルの変更 \(P.29\)](#)
- [マニュアルからの削除 \(P.29\)](#)

### マニュアルの誤り

『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド』に記載されている次の情報に誤りがありました。

- [ビデオの最小ビット レート \(P.28\)](#)
- [ユーザ プロファイルとユーザ グループのインポート \(P.28\)](#)

### ビデオの最小ビット レート

Ad Hoc Conferencing Configuration ページのフィールドを説明する項から、ビデオの最小ビット レートの定義に関する注釈が削除されました。この注には、このパラメータの値がアドホック ビデオ ポート数に影響を及ぼす可能性があると書かれていましたが、アドホック ビデオ ポート数に影響するのはビデオの最大ビット レートだけです。

### ユーザ プロファイルとユーザ グループのインポート

「ユーザ プロファイルのインポートに関する制約事項」の項の最後の箇条書きに、次のような誤った記述があります。

- インポート ファイルに `grpnm` ヘッダー フィールドまたは `grpnum` ヘッダー フィールドが含まれていない場合は、インポートされたユーザ プロファイルは、事前に設定された「system」グループに自動的に割り当てられる。

`grpnm` と `grpnum` の両方のフィールドが必要です。次のように変更する必要があります。

- インポート ファイルに `grpnm` ヘッダー フィールドまたは `grpnum` ヘッダー フィールドが含まれていない場合は、関連付けられたユーザ プロファイルはインポートされず、エラーが記録される。

ユーザ プロファイルのインポートに使用するフィールドを示す表の、`grpnm` フィールドおよび `grpnum` フィールドの説明が間違っています。どちらの説明も制限事項について次のように変更する必要があります。

制限事項: インポート ファイルには `grpnm` フィールドと `grpnum` フィールドを含める必要があります。両方のフィールドが含まれていないと、関連付けられたユーザ プロファイルをインポートできず、インポートは失敗します。詳細については、「ユーザ プロファイルのインポートに関する制約事項」を参照してください。

## マニュアルの変更

次の情報は、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド』で変更されました。

### Cisco Unified MeetingPlace Express をアドホック会議対応に設定する

アドホック会議に対応するように Cisco Unified MeetingPlace Express の設定方法を説明した項で、手順 4 が変更されました。手順 4 では、[ SCCP enabled ] フィールド、[ Primary TFTP server ] フィールド、[ Backup TFTP server 1 ] フィールドを設定する必要があります。

### アドホック会議用のビデオ ポート

アドホック会議用のビデオ ポートについて説明した項で、ビデオの最大ビット レートを大きくした場合に何が起こるかを記述した箇条書きが次のように変更されました。

- ビデオの最大ビット レートを 704 kbps に上げると、システムは、次の数式に従って、使用可能なアドホック ビデオ ポート数を下げます。

使用可能なアドホック ビデオ ポート数 = maxadhoc ライセンス ポート数 / 3

たとえば、maxadhoc ライセンス ポート数が 60 に設定されているときに、ビデオの最大ビット レートを 704 に上げると、使用可能なポート数は 20 になります。



**(注)** この変更は、Ad Hoc Conferencing Configuration ページの値を保存した後にのみ有効となります。

## マニュアルからの削除

次の情報は、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド』から削除されました。

- [ポート要件 \(P.29\)](#)
- [SMTP サーバの設定 \(P.30\)](#)

## ポート要件

次の情報が追加されました。

社内外のお客様が Web 会議を使用できるように、次のポートは内部的および外部的にオープンにする必要があります。

- TCP ポート 80 (HTTP 用)
- TCP ポート 443 (HTTPS 用)
- TCP ポート 1935 (Web 会議用) (推奨)
- TCP ポート 8080 (Cisco Unified IP Phone 対応の Cisco Unified MeetingPlace Express サービス用)



**(注)** Cisco Unified IP Phone 対応の Cisco Unified MeetingPlace Express サービスを使用しており、Cisco Unified MeetingPlace Express システムが HTTPS で動作するように設定している場合は、Cisco Unified IP Phone から Cisco Unified MeetingPlace Express サーバに対してポート 8080 をオープンにする必要があります。

次のポートは、音声会議用に内部的にオープンにする必要があります (Cisco Unified CallManager が社内にある場合)。

- TCP ポート 1720 (H.323 ホスト コール用)
- UDP ポート 5060 (SIP 用)
- TCP ポート 8404 (Cisco Unified CallManager への LDAP 用)
- UDP ポート 16384 ~ 32767 (RTP ストリーム用)
- TCP ポート 62000 ~ 62999 (H.323 用)

次のポートは、ビデオ会議用にオープンにする必要があります。

- TCP ポート 2000 (Cisco Unified CallManager と Cisco Unified MeetingPlace Express との間の SCCP 用)
- UDP ポート 32767 (Cisco Unified CallManager と Cisco Unified MeetingPlace Express との間の TFTP ダウンロード用)
- UDP ポート 20480 ~ 24576 (ビデオ エンドポイントと Cisco Unified MeetingPlace Express との間のビデオ ストリーミング用)

次のポートは、適切なアプリケーションを使用する場合に限りオープンにする必要があります。

- TCP ポート 22 (SSH 用)
- TCP ポート 25 (SMTP 用)
- TCP ポート 80 (Microsoft Exchange 用)
- UDP ポート 123 (NTP 用)
- UDP ポート 161 (SNMP 用)

## SMTP サーバの設定

次の内容の注釈が「SMTP サーバの設定」の項に追加されました。



- (注)** Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティングシステムのインストール中に入力した値は、Administration Center には引き継がれません。そのため、SMTP Server Configuration ページでプライマリ SMTP サーバの値を再入力する必要があります。

## Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザガイド

ここでは、次の内容について説明します。

- [マニュアルの変更 \(P.31\)](#)
- [マニュアルからの削除 \(P.31\)](#)

### マニュアルの変更

『Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザガイド』では次の情報が変更されました。

#### 他の参加者の画面の表示

他の参加者の画面を表示する方法に関する項で、主催者の視点から会議室の表示に戻るには[表示] > [主催者]を選択する、と説明されている手順の後に次の注釈が追加されました。



(注) 会議の所有者である場合にだけ、主催者画面に戻ることができます。会議の所有者でない場合は、会議の別の主催者に、自分を主催者として復帰してもらうように依頼する必要があります。

### マニュアルからの削除

『Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザガイド』から次の情報が削除されました。

#### 会議の終了時

会議の自動終了時について説明した表で、予約不要の会議が自動終了した場合の記述が次のように変更されました。

(予約不要の会議は ... の場合、即座に終了します。) 音声会議の最後の参加者のコールが切断されず。または、参加者が会議にダイヤルしても、他の誰かが会議に入る前に切断されます (会議の音声および Web の部分は、Web 会議室に残っている参加者数にかかわらず終了します)。

## マニュアルの入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。ここでは、シスコが提供する製品マニュアル リソースについて説明します。

### Cisco.com

シスコの最新のマニュアルは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

### Product Documentation DVD (英語版)

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納したライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製の各ハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関するマニュアルにアクセスすることができます。また、この DVD を使用すると、次の URL のシスコの Web サイトに掲載されている HTML マニュアルおよび PDF ファイルにアクセスすることができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

Product Documentation DVD は、定期的に作成およびリリースされています。DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store から Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

### マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco Marketplace にアクセスするには、Cisco.com の登録ユーザとなる必要があります。登録ユーザの場合、Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/docstore>

ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

## シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

## シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル ( 英文のみ ) を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ対策の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、およびセキュリティ対策がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、次の URL から Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication ( PSIRT RSS ) フィードに登録してください。PSIRT RSS フィードへの登録方法については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_psirt\\_rss\\_feed.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html)

## シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合 : [security-alert@cisco.com](mailto:security-alert@cisco.com) ( 英語のみ )  
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと見なされます。
- 緊急でない場合 : [psirt@cisco.com](mailto:psirt@cisco.com) ( 英語のみ )

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 ( 英語のみ )
- 1 408 525-6532 ( 英語のみ )



### ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP ( Pretty Good Privacy ) または GnuPG などの互換製品を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 9.x を使用して暗号化された情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

PGP を持っていない、または使用していない場合は、機密情報を送信する前に PSIRT に問い合わせ、他のデータ暗号化方法を確認してください。

## Product Alerts および Field Notices

シスコ製品に対する変更やアップデートは、Cisco Product Alerts および Cisco Field Notices で通知されます。Cisco.com のプロダクト アラート ツールを使用すると、Cisco Product Alerts および Cisco Field Notices を受け取ることができます。このツールを使用すれば、プロフィールを作成して、情報を受け取る製品を選択できます。

プロダクト アラート ツールにアクセスするには、Cisco.com の登録ユーザとなる必要があります。(Cisco.com にユーザ登録するには、<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do> にアクセスします)。登録ユーザは、<http://tools.cisco.com/Support/PAT/do/ViewMyProfiles.do?local=en> でこのツールを使用できます。

## テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

## Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

オンラインまたは電話でサービス リクエストを発行する前に、**Cisco Product Identification Tool** を使用して製品のシリアル番号を確認してください。Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでこのツールを使用するには、**Tools & Resources** リンクをクリックし、**All Tools (A-Z)** タブをクリックした後、アルファベット順のリストから **Cisco Product Identification Tool** を選択します。このツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、**show** コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

**ヒント****Cisco.com での表示および検索**

ブラウザが Web ページをリフレッシュしていないと思われる場合は、Ctrl キーを押したまま F5 を押すことで強制的にブラウザに Web ページを更新させます。

技術情報を検索する場合は、Cisco.com の Web サイト全体ではなく、技術マニュアルに検索対象を絞り込みます。Cisco.com のホームページで、Search ボックスの下にある **Advanced Search** リンクをクリックし、**Technical Support & Documentation** オプション ボタンをクリックしてください。

Cisco.com の Web サイトまたは特定の技術マニュアルに関するフィードバックを送るには、Cisco.com のすべての Web ページの下部にある **Contacts & Feedback** をクリックします。

## Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

## サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

## サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

## その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Online Subscription Center は、シスコのさまざまな E メール ニュースレターやその他の通信に登録できる Web サイトです。プロフィールを作成し、受信を希望する情報を選択してください。Cisco Online Subscription Center には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/offer/subscribe>

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は手軽でコンパクトな参照ツールです。チャネルパートナー経由で販売される多くのシスコ製品に関する簡単な製品概要、主要な機能、サンプル部品番号、および簡単な技術仕様を記載しています。年 2 回の更新の際には、シスコのチャネル製品の最新情報が収録されます。『Cisco Product Quick Reference Guide』の注文方法および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者と共に共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- 「What's New in Cisco Documentation」は、シスコ製品の最新のマニュアル リリースに関する情報を提供するオンライン出版物です。このオンライン出版物は毎月更新され、製品カテゴリ別に編成されているため、製品のマニュアルを簡単に検索できます。次の URL で「What's New in Cisco Documentation」の最新リリースを見ることができます。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/abtnucd/136957.htm>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

---

このマニュアルは、「[関連マニュアル](#)」に一覧されているマニュアルと併せてお読みください。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0612R)

Copyright © 2005-2006, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。  
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/)

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、  
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501